

青森県経済統計報告

平成 30 年 1 月 4 日

企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口(平成 29 年 12 月 1 日現在)..... 1

県人口 1,277,086 人 (対前月 863 人減少)			
自然動態	793 人減少	(出生者数 649 人、死亡者数 1,442 人)	
社会動態	70 人減少	(転入者数 974 人、転出者数 1,044 人)	

2 本県の経済動向 (平成 29 年 10 月・11 月の経済指標を中心として)

(1) 経済概況

本県経済は、緩やかに回復している。

(2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 生産動向
・平成 29 年 10 月の**青森県鉱工業生産指数**(平成 22 年=100)は、季節調整指数が 110.7 で、前月比 2.0%の低下となり、2 カ月連続で前月を下回った。また、原指数は 113.3 で、前年同月比 1.9%の上昇となり、3 カ月連続で前年同月を上回った。 ... 2
- (2-2) 雇用労働
・平成 29 年 10 月の**定期給与**は 226,243 円で前年同月比 4.9%増となった。**総実労働時間**は 158.7 時間で前年同月比 3.0%増、**所定外労働時間**は 13.0 時間で前年同月比 17.5%増となった。
・平成 29 年 11 月の**有効求人倍率**(季節調整値)は 1.27 倍で、前月を 0.02 ポイント上回った。 ... 3
- (2-3) 物 価
平成 29 年 11 月の**青森市消費者物価指数**(平成 27 年=100)は、総合指数が 101.0 となり、前月比 0.5%の上昇、前年同月比 1.1%の上昇となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 101.7 となり、前月と同水準、前年同月比 0.6%の上昇となった。 ... 5
- (2-4) 個人消費
・平成 29 年 11 月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが 136 億円で前年同月比 0.5%増となり、6 カ月連続で前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比 0.7%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。
・平成 29 年 11 月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は 3,524 台で、前年同月比 0.7%減となり、14 カ月ぶりに前年同月を下回った。
・平成 29 年 11 月の**観光入込客数**は、主な観光施設が 661 千人で前年同月比 2.3%増となり、3 カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は 120 千人で前年同月比 2.9%増となり、2 カ月ぶりに前年同月を上回った。 ... 6
- (2-5) 建 設
・平成 29 年 11 月の**新設住宅着工戸数**は 570 戸で、前年同月比 7.6%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。
・平成 29 年 11 月の**公共工事請負額**は 78 億 7,700 万円で前年同月比 11.3%増となり、2 カ月連続で前年同月を上回った。 ... 7
- (2-6) 企業倒産
平成 29 年 11 月の**企業倒産**は、件数は 3 件で前年同月比 50.0%増となった。負債総額は 6 億 200 万円で前年同月比 77.2%減となった。 ... 8

(3) 景気動向指数 C I (平成 29 年 10 月分) 9

先行指数	142.8	(前月を 8.1 ポイント下回り、2 カ月連続で下降した)
一致指数	178.8	(前月を 9.5 ポイント下回り、2 カ月連続で下降した)
遅行指数	120.6	(前月を 0.6 ポイント上回り、2 カ月連続で上昇した)

1 青森県の推計人口（平成29年12月1日現在）

【概況】

平成29年12月1日現在の本県推計人口は、1,277,086人で、前月に比べ863人の減少となった。

○自然動態

出生者数が649人、死亡者数が1,442人で、793人の減少となった。

○社会動態

転入者数が974人、転出者数が1,044人で、70人の減少となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総計	男	女	対前月 増減率	増減数	自然 増減数	自然		社会 増減数	県外からの 転入者数	県外への 転出者数
							出生者数	死亡者数			
昭 45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
27.10.1	1,308,265	614,694	693,571	-	-65,074	-	-	-	-	-	-
28.12.1	1,292,212	607,074	685,138	-0.071%	-918	-802	711	1,513	-116	1,002	1,118
29. 1. 1	1,291,206	606,639	684,567	-0.078%	-1,006	-819	666	1,485	-187	920	1,107
29. 2. 1	1,290,008	606,029	683,979	-0.093%	-1,198	-1,115	704	1,819	-83	978	1,061
29. 3. 1	1,288,791	605,418	683,373	-0.094%	-1,217	-857	621	1,478	-360	999	1,359
29. 4. 1	1,282,545	602,241	680,304	-0.485%	-6,246	-900	665	1,565	-5,346	3,993	9,339
29. 5. 1	1,282,136	602,187	679,949	-0.032%	-409	-803	624	1,427	394	3,420	3,026
29. 6. 1	1,281,461	601,833	679,628	-0.053%	-675	-752	738	1,490	77	1,366	1,289
29. 7. 1	1,280,651	601,351	679,300	-0.063%	-810	-674	643	1,317	-136	1,193	1,329
29. 8. 1	1,279,829	601,046	678,783	-0.064%	-822	-672	651	1,323	-150	1,699	1,849
29. 9. 1	1,278,997	600,700	678,297	-0.065%	-832	-742	669	1,411	-90	1,685	1,775
29.10.1	1,278,581	600,560	678,021	-0.033%	-416	-565	721	1,286	149	1,578	1,429
29.11.1	1,277,949	600,252	677,697	-0.049%	-632	-790	712	1,502	158	1,455	1,297
29.12.1	1,277,086	599,949	677,137	-0.068%	-863	-793	649	1,442	-70	974	1,044

1 1月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月		H19.11	20.11	21.11	22.11	23.11	24.11	25.11	26.11	27.11	28.11	29.11
自然 動態	出生者数	826	739	799	765	793	750	732	657	745	711	649
	死亡者数	1,246	1,306	1,298	1,454	1,365	1,440	1,445	1,386	1,503	1,513	1,442
	自然増減数	-420	-567	-499	-689	-572	-690	-713	-729	-758	-802	-793
社会 動態	県外からの 転入者数	1,309	1,222	1,258	1,218	1,154	1,158	1,066	931	1,057	1,002	974
	県外への 転出者数	1,406	1,351	1,305	1,260	1,202	1,147	1,206	1,003	1,131	1,118	1,044
	社会増減数	-97	-129	-47	-42	-48	11	-140	-72	-74	-116	-70
増減数計		-517	-696	-546	-731	-620	-679	-853	-801	-832	-918	-863

※ 1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年は国勢調査人口（確定値）。

※ 2 平成27年11月1日以降の人口は、平成27年国勢調査人口（確定値 総務省統計局 平成28年10月26日）を基礎に推計している。

※ 3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年が各々の前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※ 4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

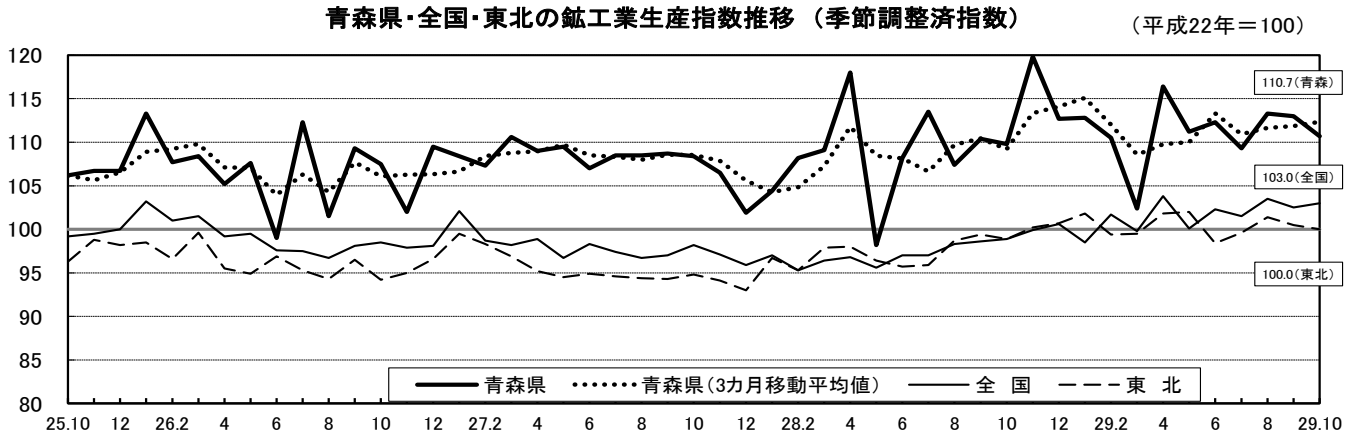
2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 生産動向

平成29年10月の青森県鉱工業生産指数(平成22年=100)は、季節調整済指数が110.7で、前月比2.0%の低下となり、2カ月連続で前月を下回った。また、原指数は113.3で、前年同月比1.9%の上昇となり、3カ月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、電子部品・デバイス工業、金属製品工業、食料品工業などが上昇に寄与した一方、業務用機械工業、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業などが低下し、鉱工業全体では2.0%の低下となった。

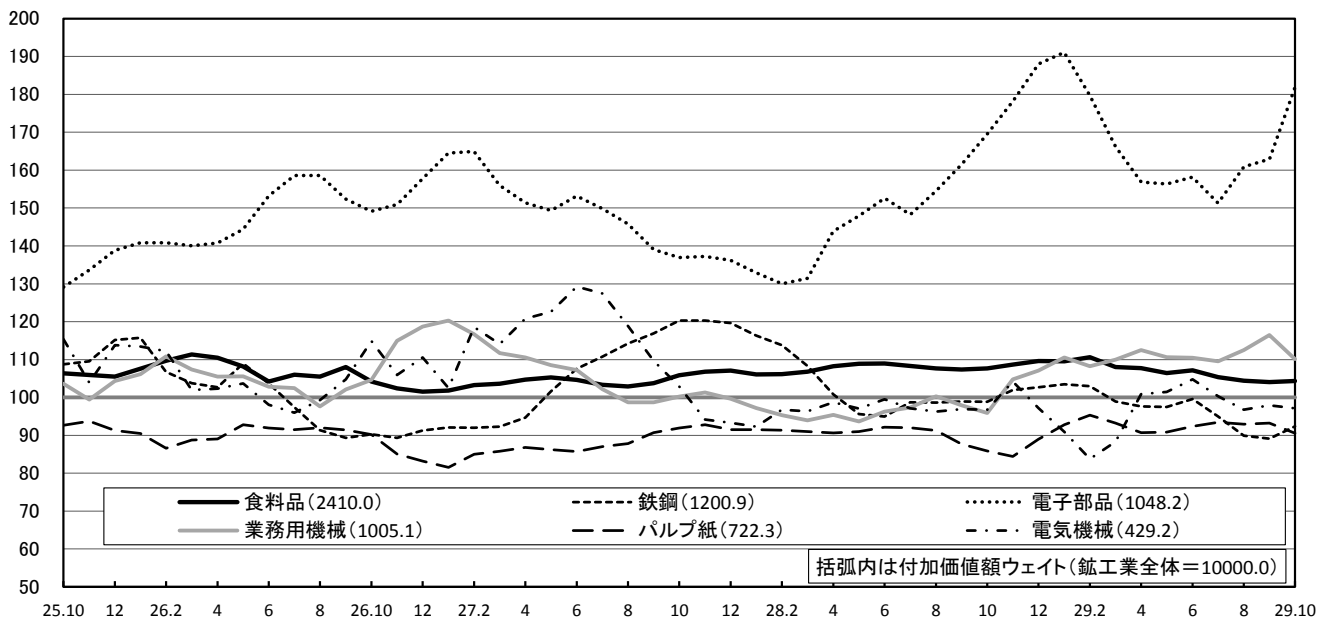


◎業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 -2.0%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
電子部品・デバイス工業	13.0	118.5	業務用機械工業	-20.0	-119.8
金属製品工業	24.2	64.8	化学工業	-70.7	-77.2
食料品工業	0.9	11.0	パルプ・紙・紙加工品工業	-9.0	-30.9
窯業・土石製品工業	1.2	2.1	電気機械工業	-8.7	-20.8
鉄鋼業	0.3	1.8	生産用機械工業	-5.7	-15.9

主要業種の生産動向(季節調整済指数・3カ月移動平均値)

(平成22年=100)



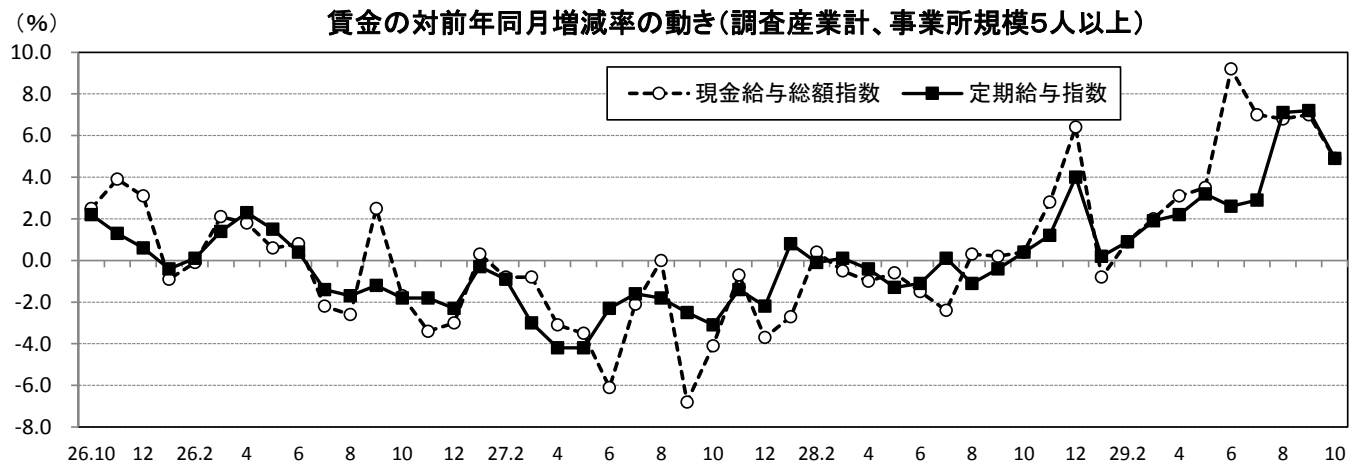
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用労働

(2-2-1) 給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）

平成29年10月の定期給与は226,243円で、定期給与指数（平成27年=100）では104.7となり、前年同月比4.9%増と13カ月連続の増（現金給与総額226,977円、現金給与総額指数90.4、前年同月比4.9%増）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は86.6となった。

総実労働時間は158.7時間で、総実労働時間指数は102.7となり、前年同月比3.0%増と11カ月連続の増となった。このうち、所定外労働時間は13.0時間で、所定外労働時間指数は113.0となり、前年同月比17.5%増と11カ月連続の増となった。



資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

賃金及び労働時間の全国との比較(調査産業計、事業所規模5人以上)

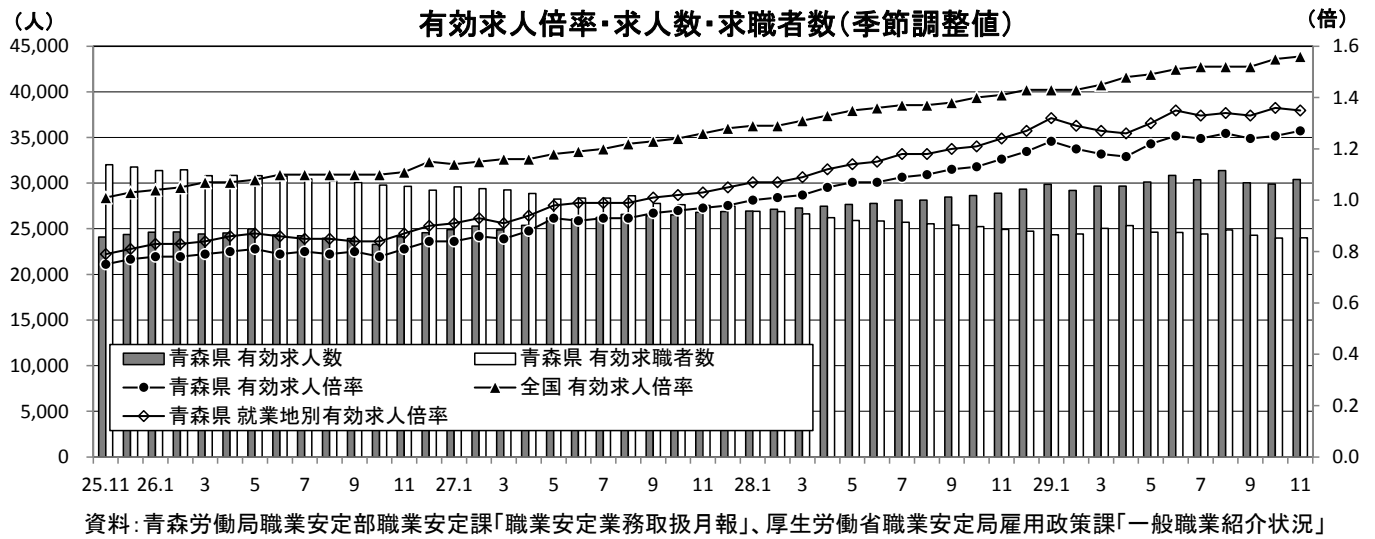
	実 数		指数(H27=100)		対前年同月増減率	
	青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国
現金給与総額	226,977 円	267,433 円	90.4	85.3	4.9 %	0.2 %
定期給与	226,243 円	261,128 円	104.7	100.7	4.9 %	0.3 %
特別給与	734 円	6,305 円	—	—	—	0.2 %
総実労働時間	158.7 時間	144.5 時間	102.7	100.0	3.0 %	0.8 %
所定内労働時間	145.7 時間	133.4 時間	101.8	99.9	1.8 %	0.7 %
所定外労働時間	13.0 時間	11.1 時間	113.0	100.9	17.5 %	0.7 %

- (注) 1. 「定期給与」とは、あらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与のことで、超過労働給与（所定の労働時間をこえる労働、休日労働、深夜労働に対して支給される給与）を含みます。
2. 「特別給与」とは、給与の差額追給額（ベースアップ分）、3か月をこえる期間単位で支給される住宅手当や通勤手当、賞与（ボーナス）等のことです。
3. 「所定内労働時間」とは、正規の始業時刻と終業時刻との間から休憩時間を差し引いた労働時間のことです。
4. 「所定外労働時間」とは、早出、残業、休日出勤等の労働時間のことです。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

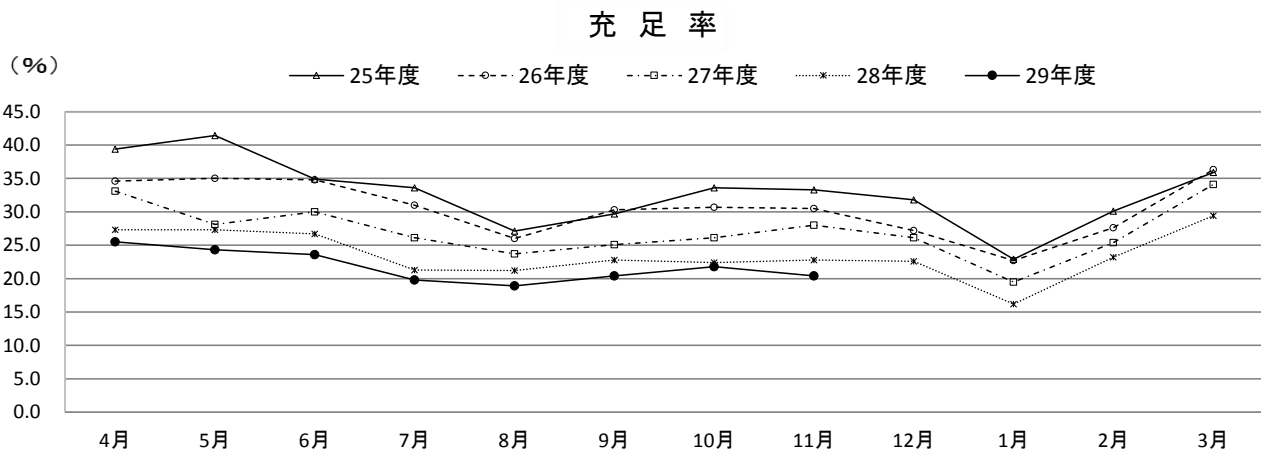
(2-2-2) 有効求人倍率

平成29年11月の有効求人倍率（季節調整値）は1.27倍で、前月を0.02ポイント上回り、過去最高の水準となった。就業地別有効求人倍率は1.35倍で、前月を0.01ポイント下回った。



(参考) 充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

平成29年11月の充足率は20.4%で、前年同月と比べ2.4ポイント下回った。



(2-3) 物価

平成29年11月の青森市消費者物価指数(平成27年=100)は、総合指数が101.0となり、前月と比べ0.5%の上昇、前年同月と比べ1.1%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は101.5となり、前月と比べ0.3%の上昇、前年同月と比べ1.9%の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は101.7となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.6%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ0.5%の上昇となった内訳を寄与度で見ると、食料(生鮮野菜など)、光熱・水道(他の光熱など)などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ1.1%の上昇となった内訳を寄与度で見ると、光熱・水道(他の光熱など)、交通・通信(自動車等関係費など)などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

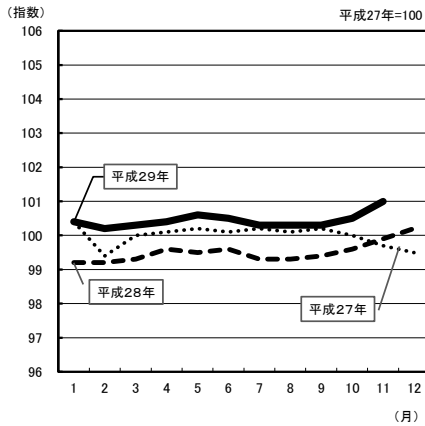


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

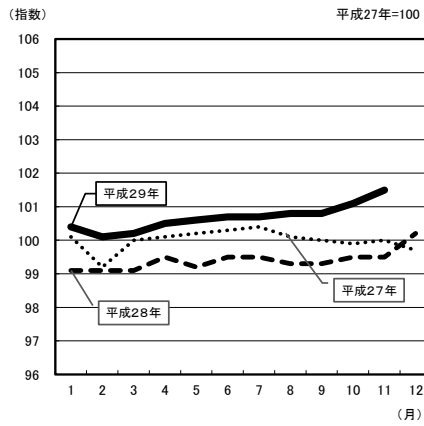
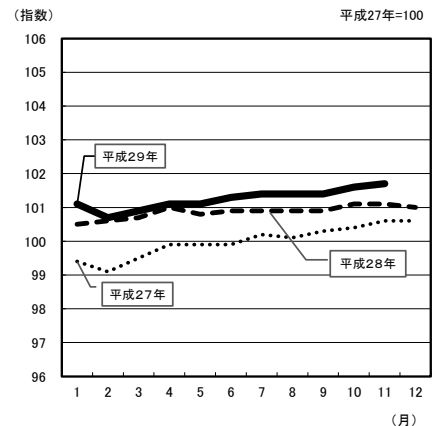


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成27年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被及履	服	保	健康	交通・通信	教育	教	養	諸
	合	品	品	料	料	食	居	道	用	履	物	医	療	信	育	娛	楽	費
当月指数	101.0	101.5	101.7	100.7	102.6	91.4	99.9	99.2	101.4	102.5	102.0	98.5	102.5	102.7	101.7			
前月比(%)	0.5	0.3	0.0	0.0	1.0	5.4	0.0	1.8	0.5	1.3	▲0.2	0.6	0.0	▲0.7	▲0.2			
寄与度	—	0.31	0.04	▲0.01	0.27	0.22	0.00	0.19	0.02	0.04	▲0.01	0.08	0.00	▲0.05	▲0.01			
前年同月比(%)	1.1	1.9	0.6	0.2	▲0.9	▲14.8	▲0.3	9.9	0.0	▲0.1	1.7	1.5	0.5	1.0	1.0			
寄与度	—	1.85	0.53	0.16	▲0.26	▲0.75	▲0.06	0.99	0.00	0.00	0.07	0.20	0.01	0.08	0.06			

資料: 県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

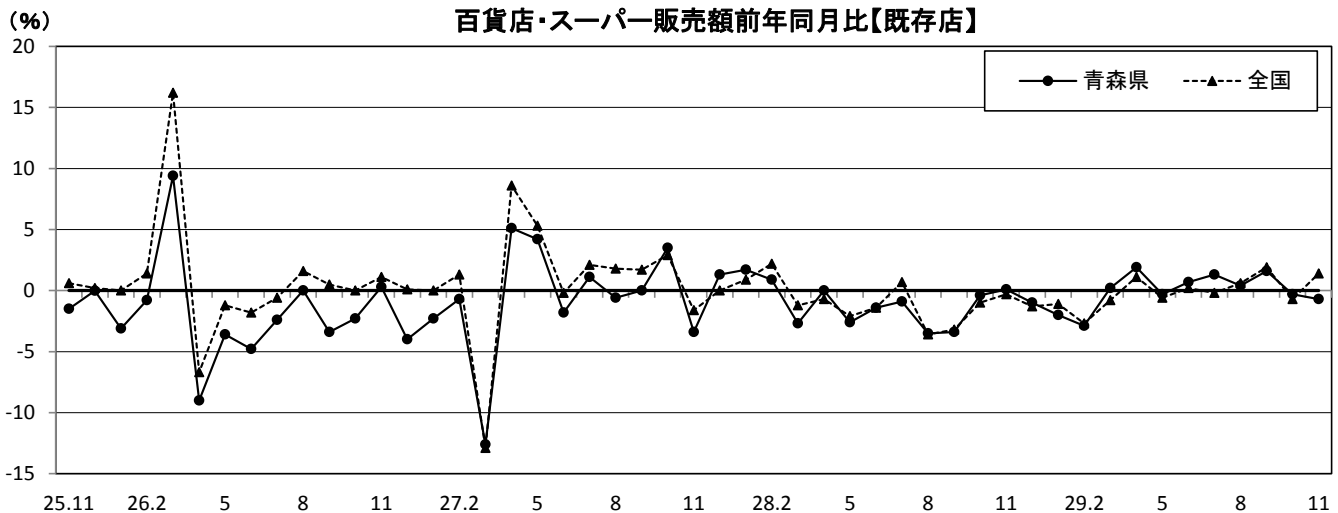
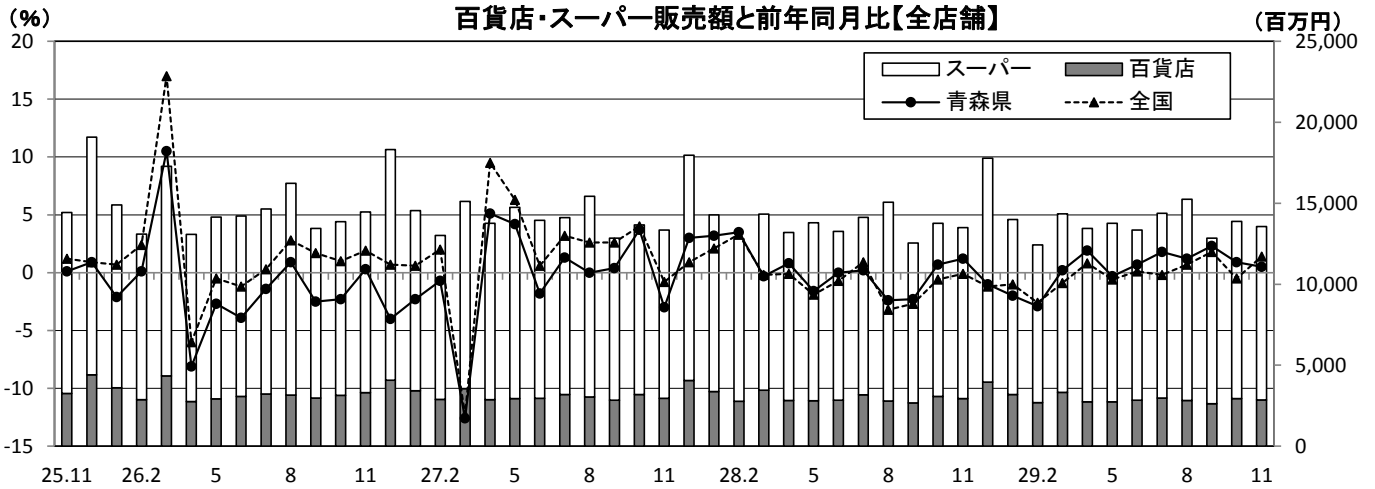
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

(2-4) 個人消費

(2-4-1) 百貨店・スーパー販売額

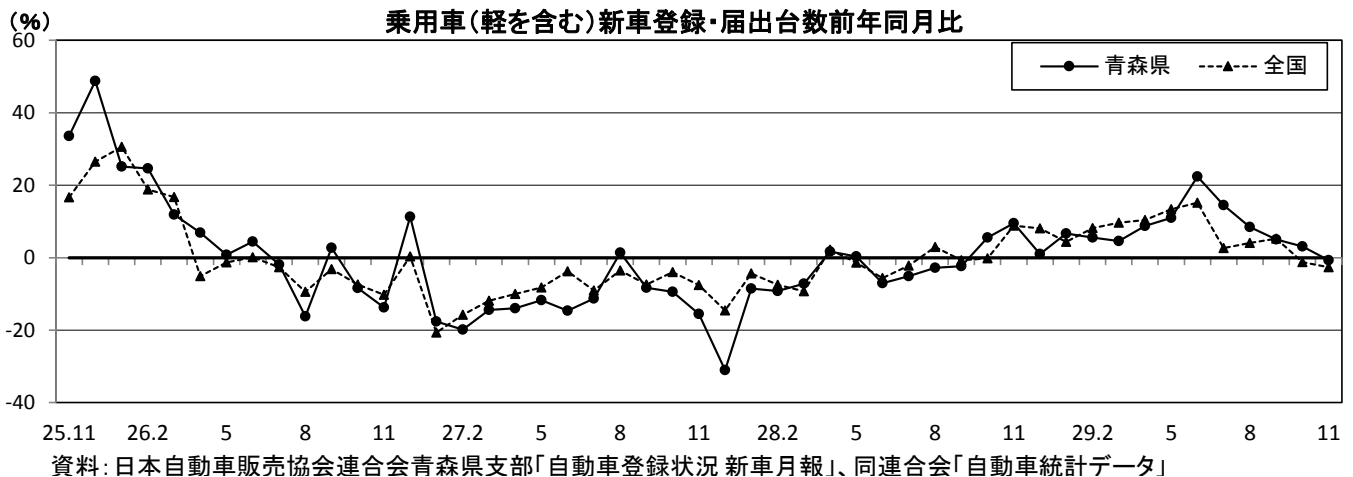
平成29年11月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが136億円で前年同月比0.5%増となり、6カ月連続で前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比0.7%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。



* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

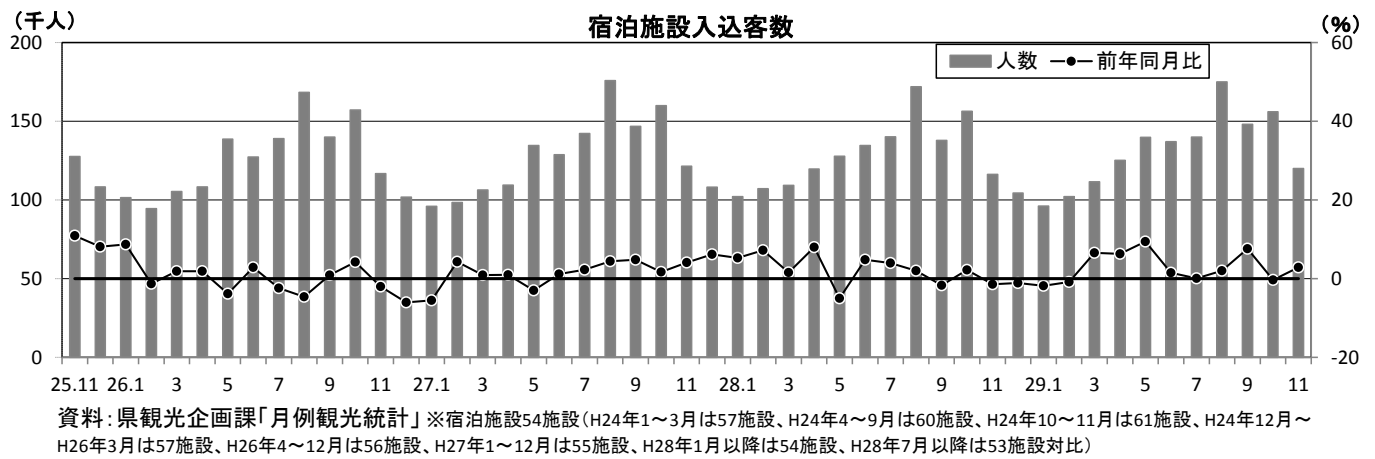
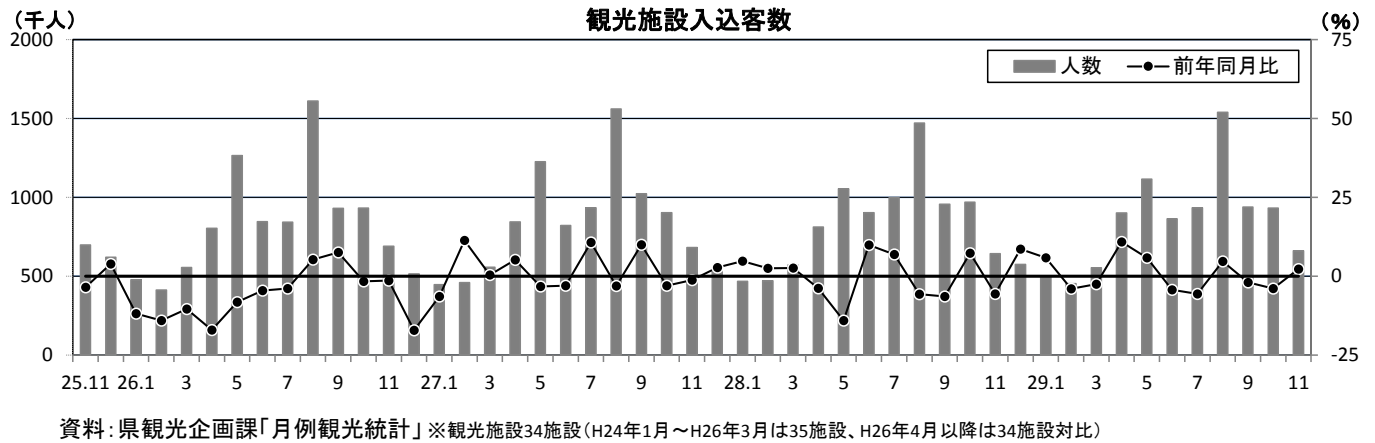
(2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

平成29年11月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,524台で、前年同月比0.7%減となり、14カ月ぶりに前年同月を下回った。普通車、軽乗用車が減少したことによる。



(2-4-3) 観光入込客数

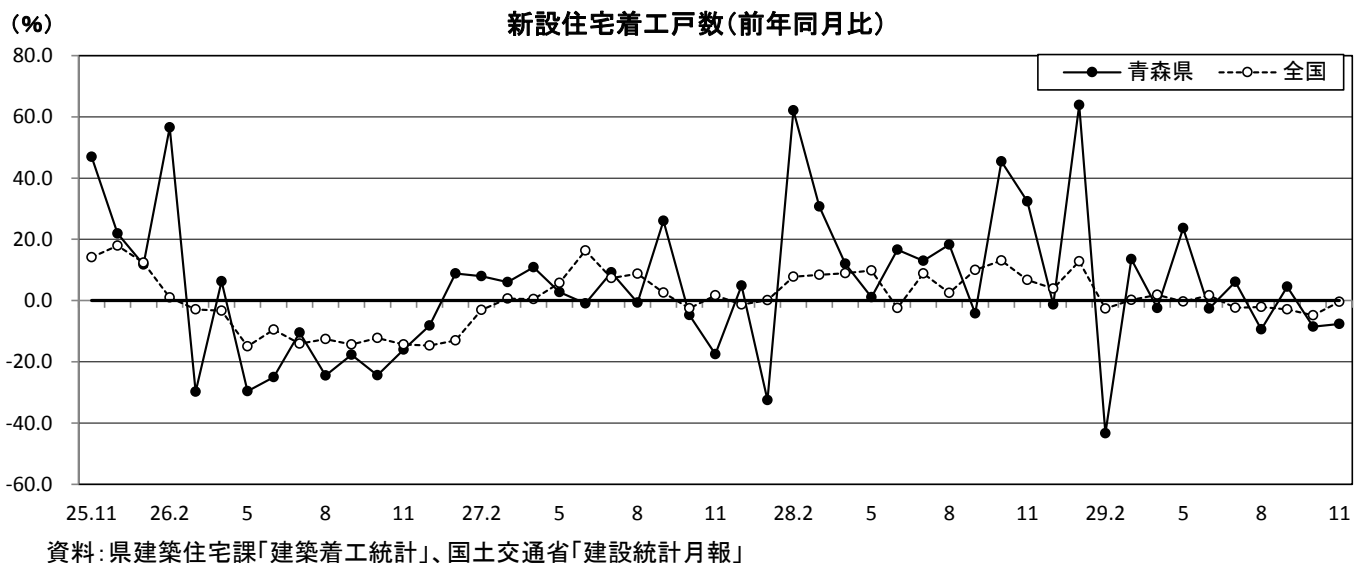
平成29年11月の観光入込客数は、主な観光施設が661千人で前年同月比2.3%増となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は120千人で前年同月比2.9%増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。観光施設は青森市、弘前市、八戸市、十和田市、西目屋村等の施設で増加し、宿泊施設はむつ市等の施設で増加したことによる。



(2-5) 建設

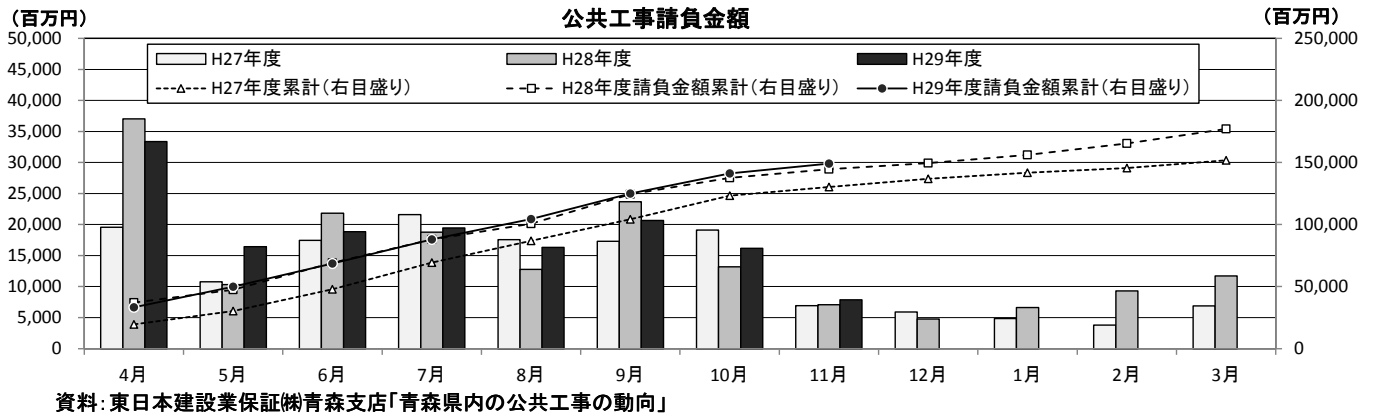
(2-5-1) 住宅建設

平成29年11月の新設住宅着工戸数は570戸で前年同月比7.6%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。持家、貸家が減少したことによる。



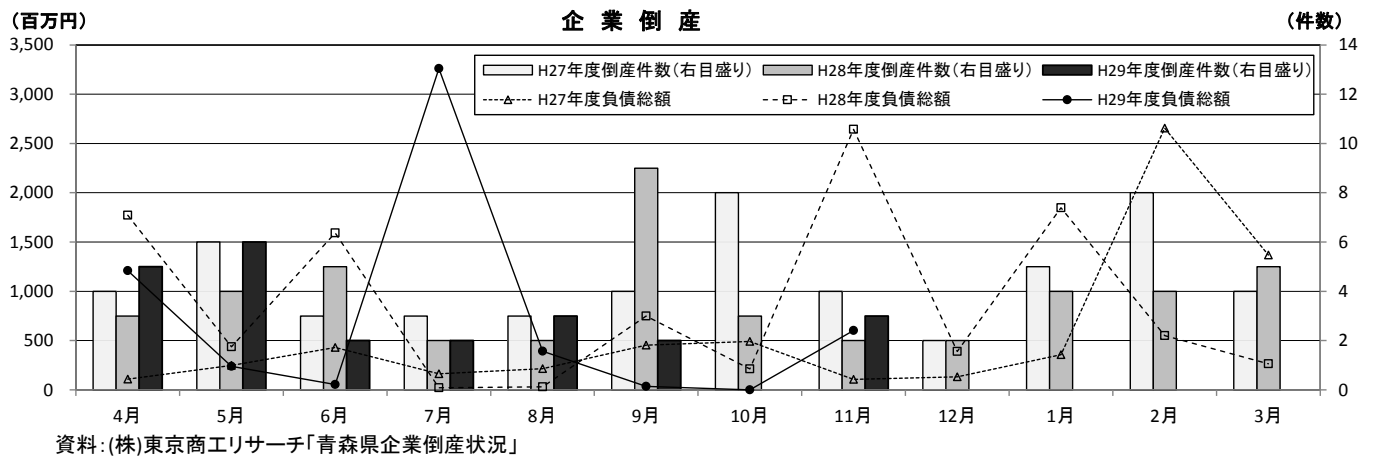
(2-5-2) 公共事業

平成29年11月の公共工事請負金額は78億7,700万円で前年同月比11.3%増となり、県等の増加により2カ月連続で前年同月を上回った。また、平成29年11月までの累計金額は1,491億2,100万円で前年同期比3.1%増となった。



(2-6) 企業倒産

平成29年11月の企業倒産は、件数は3件で前年同月比50.0%増となった。負債総額は6億200万円で前年同月比77.2%減となった。また、平成29年11月までの累計倒産件数は23件で前年同期比23.3%減、負債総額は57億9,200万円で前年同期比22.3%の減となった。



(3) 青森県景気動向指数

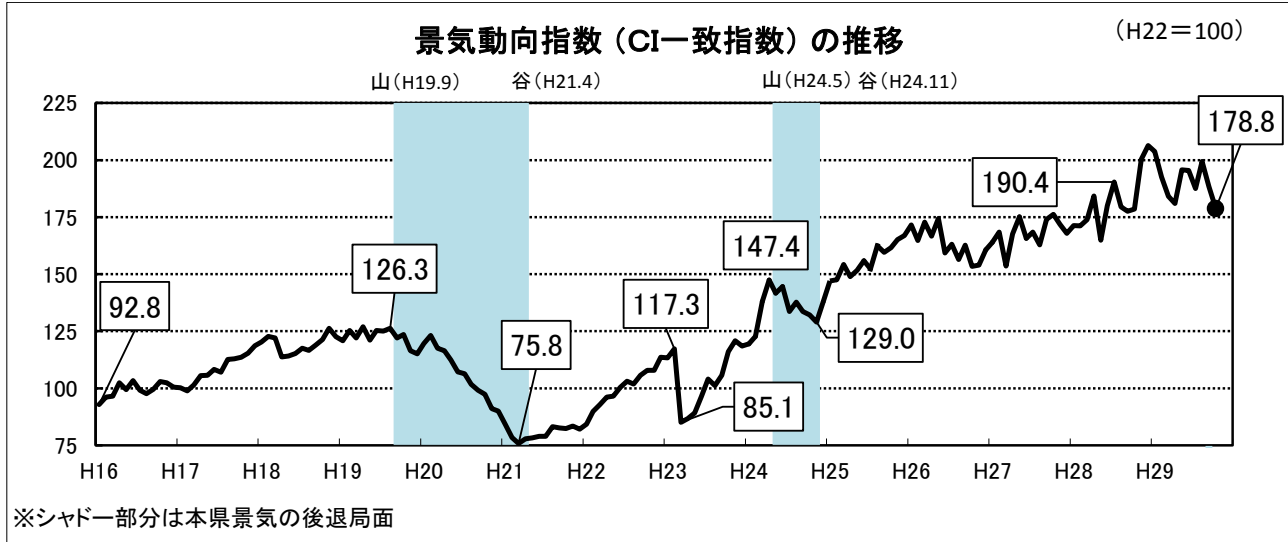
平成29年10月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数 142.8、一致指数 178.8、遅行指数 120.6 となった。

先行指数は、前月を 8.1 ポイント下回り、2カ月連続で下降した。

一致指数は、前月を 9.5 ポイント下回り、2カ月連続で下降した。

遅行指数は、前月を 0.6 ポイント上回り、2カ月連続で上昇した。

10月の一致指数は流通・雇用・消費関連の指標がマイナスになったことから下降した。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
建築着工床面積	1.78	2カ月連続	新規求人倍率（全数）	-7.43	2カ月連続
企業倒産件数	0.98	5カ月連続	日経商品指数（42種）	-1.54	5カ月ぶり
			新設住宅着工床面積	-1.32	2カ月ぶり
			乗用車新車登録届出数	-0.64	4カ月連続
			生産財生産指数	-0.31	3カ月ぶり
			中小企業景況DI	-0.03	3カ月連続
一致系列					
投資財生産指数	0.40	2カ月ぶり	輸入通関実績（八戸港）	-3.94	2カ月ぶり
			所定外労働時間指数（全産業）	-3.17	4カ月ぶり
			百貨店・スーパー販売額（既存店）	-1.30	2カ月ぶり
			鉦工業生産指数	-1.23	2カ月連続
			旅行取扱高	-0.24	2カ月連続
			有効求人倍率（全数）	-0.02	2カ月連続
遅行系列					
公共工事請負金額	1.31	2カ月ぶり	常用雇用指数（全産業）	-0.73	2カ月連続
りんご消費地市場価格	0.90	2カ月連続	家計消費支出（勤労者世帯：実質）	-0.56	2カ月ぶり
			有効求職者数（全数）	-0.29	2カ月ぶり
			県内金融機関貸出残高	-0.15	2カ月連続
			青森市消費者物価指数（総合）	-0.09	3カ月連続

(参考) 青森県景気動向指数（D I）

先行指数	50.0%	（2カ月連続で50%を上回った後50%となった）
一致指数	35.7%	（2カ月連続で50%を下回った）
遅行指数	71.4%	（2カ月連続で50%を上回った）